崇城大 8季ぶり 栄冠

熊本四大学野球春季L

熊本四大学野球春季リーグ第2週第2日は21日、リブワーク藤崎台球場で崇城大が前日に続き熊本大に連勝して勝ち点を2に伸ばし、今季は東海大九州が欠場していることから8季ぶり6度目の優勝を決めた。

崇城大は六回表に四球と三塁打で1点を先制された。しかし、その裏に中山智好らの2連打などで3点を奪って逆転し、七回に中山の三塁打で1点を追加。先発の北崎裕之（多良木高出）が熊本大の反撃を九回の2点に抑え、4―3で競り勝った。

崇城大は5月24～26日、那覇市で行われる南部九州大会に進み、6月の全日本大学選手権出場1枠を目指す。リーグ最終週は27、28日（29日予備日）、同球場で学園大―熊本大を行う。

熊本大（2敗、勝ち点0）　0 0 0 0 0 0 1 0 0 2 3
崇城大（4勝、勝ち点2）　0 0 0 0 0 3 1 0 × 4

▽三塁打　小坂、荒木（熊）、中山（崇）▽二塁打　濱口（崇）▽盗塁　崇2▽失策　熊1

【熊本大―崇城大】六回裏、崇城大一死二、三塁、米良の適時打で2人が生還＝リブワーク藤崎台球場

熊本大―崇城大

【熊本大】	打	安	点
(左)(三)打走(一)(捕)(中)打右(二)打二(遊)振球犠併残			
白井	3	0	0
小坂	4	1	0
岩永	3	0	0
水橋	4	1	0
荒木	3	0	0
古閑	4	2	0
野福	3	1	0
合木矢	3	0	0
森名	3	0	0
濱口	3	1	0
犠併	0	0	0
残	3	0	0
7 1 1 0 3	31	5	3

【崇城大】	打	安	点
(指)(左)(三)(遊)(捕)(二)(一)(右)打右(中)振球犠併残			
藤原	4	0	0
田中	4	2	0
包米	4	2	0
山濱	4	1	1
良前	4	2	0
田田	3	1	0
口森	4	2	0
宏有	2	0	0
中黒	1	0	0
川犠	0	0	0
吉併	1	0	0
田残	3	1	0
4 1 0 0 7	35	10	4

	回	打	安	点
投井川緒	6	21	5	1
	1/3			
手土原方	2/3	11	4	1
北　崎	9	33	5	

激励し合い低迷乗り越える

2015年の春季リーグ以来の優勝。この間、4度の最下位にあえいだ崇城大が長いトンネルを抜けた。胴上げで宙に舞った濱口寿希弥主将は、「（入学以来）ほとんど負けていた。勝ってこんなに楽しいんだ」と野球少年のような笑みを浮かべた。

6戦全敗の昨秋リーグから、陣容に大きな変化はないが、「悔しさを忘れるな」と叱咤（しった）激励し合い、冬場の練習に取り組んできた。春の練習試合でも緊張感を保ち、亜細亜大や九州国際大などの強豪と接戦を演じ自信を深めた。

今季は初戦の学園大（前季2位）に7―1で快勝して勢いづいた。この日も六回表に1点を先制されたが、「集中力を切らさず、焦りはなかった」と竹本光宏監督。その直後、母校熊本西高のセンバツ出場に「刺激を受けた」という4番米良賢志郎の三塁強襲の適時打で逆転に成功した。エースの北崎裕之も「今日決めるしかない」と気合を入れ、変化球を低めに集めて3失点完投。野手は無失策でもり立てた。

「下克上」。チーム内の連絡に使う無料通信アプリのグループ名だ。やはり最下位に沈んだ昨春後、「はい上がる」（濱口主将）との思いを込めた。次の舞台は全国大会出場を懸けた南部九州大会。チームリーダーは「チームに勢いがある。自信を持って戦う」と誓った。（河北英之）